



2020年2月某日

差枚

+2321枚

RANK

A

実戦機種

パチスロ ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか
SLOT魔法少女まどか☆マギカ2

実戦レポート

負けても嘆いても、またすぐ次の実戦はやってくる。ありがたいことだ。クヨクヨしている場合じゃない。前々回にも書いたように、我々一般的なスロッターは開店前の時間、もっと厳密に言うなら朝起きてから入場抽選を引くまでの間にもっともテンションが上がる生き物なのだ。なぜ「抽選を引くまで」なのかは言うまでもなく、ここで引いた番号によってはテンションが落ちる可能性があるからだ。...そう、約270人の抽選で「233番」を引いてしまうような、今日みたいな日のことだ。

ただ不幸中の幸いというか、本日のホールは良い意味でどこに高設定が入るのか読めないの、こんな番号でも立ち回り次第では充分勝負になる。上ではあんなことを書いたが、設置台数を大幅に上回るような500番だとか1000番だとかにならなかった時点で、オレにとっては第一関門を突破したようなものだ。大げさでなく、本当に1000人並ぶこともあるホールだからな...。しかしやはり、入店してすぐの位置にある永遠のメイン機種・まどマギ2は満席だったので、そこを通過してバラエティや少数台機種のみまへ...おや？ 数週間前に再導入されたばかりの「パチスロダンまち」が空いているじゃないか。データを見ると、再導入からしばらく丁寧に扱われていたようで、祝日だった昨日も高設定らしき安定した右上がりのスランプグラフがチラホラ。その影響で本日は狙いから外す人が多かったようだ。でもこのホールなら、今日も引き続き高設定が使われる可能性はある！ ...そう思っていたのも開始1時間まで。設定差がある小役もボーナスも全く引けず、対照的に隣のカード台はボーナスも設定示唆演出も好調。そっちかあ〜。低設定でもスペックが甘い台だから、と続行する手もあるが、ここは早めの見切りで次の台を探すとしよう。

すると、この判断が珍しく吉と出た。打ちたかった「まどマギ2」に早くも空きが出ており、しかも約1000G弱だが弱チェリーは高設定域の数値で出現している台だ。すかさずキープして打ち始めると、地味に設定差のある「チャンス目からの超高確移行」からと思わしきCZが出現。ここから突入したARTが次々と上乘せを重ね、あっという間に残り600G以上にまで育ってしまった。ボーナスのヒキもすこぶる好調で、一撃2500枚をゲット。ボーナス後のセリフ示唆は若干ながら高設定寄りの奇数...期待するなら5か？ とか言っていたら偶数設定で優遇されている直撃ARTを引き、偶数示唆のセリフが4連打。なんだ、やっぱり偶数か。その後も微妙に高設定っぽさを保ちながら、しかし弱チェリーからのCZやボーナス後の「君にならその資格〜」等の強い要素は一切出ないまま、持ちメダルを維持して終了。設定4だとしたら上々のA級か。